共同リリース

No.17-026 2018年3月14日

新たな観光資源を掘り起こせ!

IBEX×東洋大学 仙台=広島間「新地域間交通モデル」活用プロジェクト始動!

アイベックスエアラインズ株式会社(本社:東京都江東区・代表取締役社長:浅井孝男、以下 IBEX)と東 洋大学(所在地:東京都文京区・学長:竹村牧男)は、今般産学連携プロジェクトの実施に関する協定を締 結し、定期航空路線を活用した地方間観光流動の更なる促進を目指します。

記

- 1. プロジェクトの目的
 - ① 地方間航空ネットワークを活用した地方創生・地方活性に資する観光振興方策の提言
 - ② 学生目線の自由な発想で仙台・広島両地域の観光資源や魅力を創出
- 2. プロジェクトの概要 (※別紙を併せてご参照ください。)
 - ① IBEX 仙台 = 広島線を活用し、IBEX が目指す新地域間交通モデル(※)を活用した観光振興方策 の研究と提言をするものです。具体的には、学生目線による自由な発想で地域資源を再評価、新 たな地域の魅力を発掘し、観光振興の方策を提言することにより、地域間航空路線の需要拡大 を喚起していきます。
 - ※ 新地域間交通モデルとは、IBEX・自治体・大学・企業等との連携により共創するプラットフォ ーム「New Regional Airline Lab.」が創り出すシンプル・シームレス・スピーディな地域間交通 案です。
 - ② 東洋大学は、国際観光学部の学生が対象エリアでの現地視察や関係団体へのヒアリングを積み 重ね、観光振興方策の提案を成果とします。IBEX は、学生活動のための費用支援や情報分析へ のアドバイスなど、総合的にサポートします。
 - また、外部審査員を招聘した本プロジェクトの成果発表を、2019年2月に開催する予定です。

3. 宮城県との連携

IBEX は 2018 年 1 月 25 日、宮城県と包括連携協定を締結し、東洋大学との産学連携プロジェクトに 参画することにより、地方創生・地方活性に向けた機運を高めてゆきます。

IBEX と東洋大学は今後も連携協定を通じ、観光振興の推進に寄与する取り組みを積極的に行い、地 方創生・地方活性に貢献してまいります。

添付 : 東洋大学×IBEX エアラインズ産学連携プロジェクト『新地域間交通モデルを活用した地方創生観光プラン』

以上



東洋大学 × I B E X エアラインズ 産学提携プロジェクト 『新地域間交通モデルを活用した地方創生観光プラン』

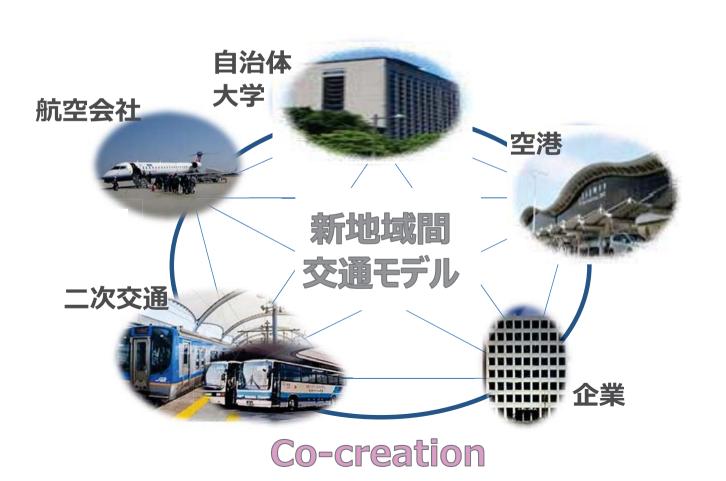


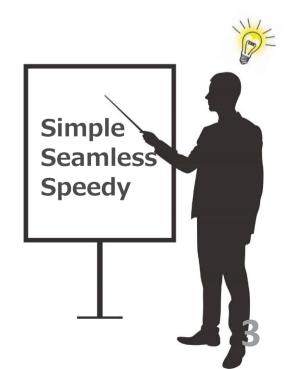




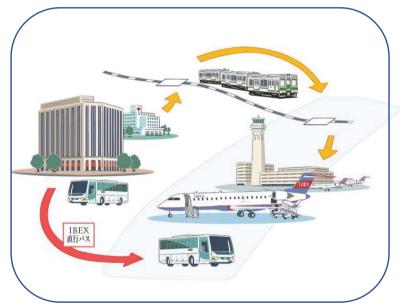
New Regional Airline Lab.とは?

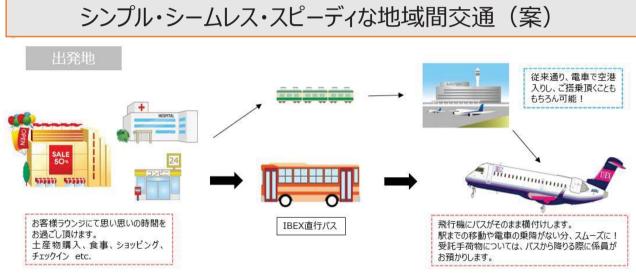
IBEXエアラインズは、東北のゲートウェイである仙台空港を中心としたリージョナル・キャリア事業を通じて培った経験と、当社が保有する 小型機材の強みを土台に、航空サービスの利便性向上を目指してきました。今後は、企業間・産学間の連携により、 New regional Airline Lab.において、全く新しいシンプル、シームレス、スピーディな地域間交通をCo-creation(共創)します。

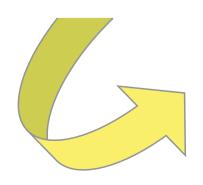


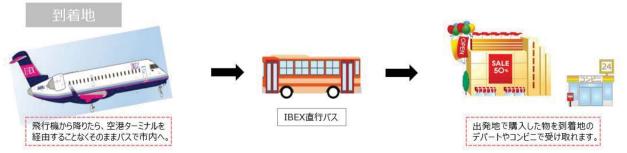


New Regional Airline Lab.が創り出すシンプル、シームレス、スピーディな地域間交通









地方創生

学生目線の自由な発想で 新たなる地域資源や 地域の魅力を創出

地方活性

未来の観光産業を担う 学生たちによる観光政策 の提言による地域の 生活・経済の活性化

地域航空ネットワークの活用

地域間航空ネットワーク の有効活用による 路線需要活性施策の立案

前提条件

新地域間交通モデルを活用した提案を前提とする (宮城県との包括連携協定との連動)

対象エリア

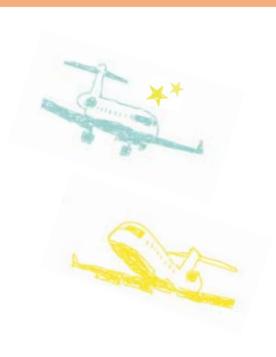
宮城・広島エリア IBEX仙台-広島線を活用

ターゲット層

宮城・広島のいずれかに軸足を置き、各地へのインバウンド旅客をターゲット とした観光振興施策を

サポート体制

- ① 地方自治体等関係者へのヒアリング調査の場の設定
- ② 旅費交通費のサポート
- ③ 活動全体のサポート体制









みなさまからの アイディアを IBEXエアラインズ 社員一同



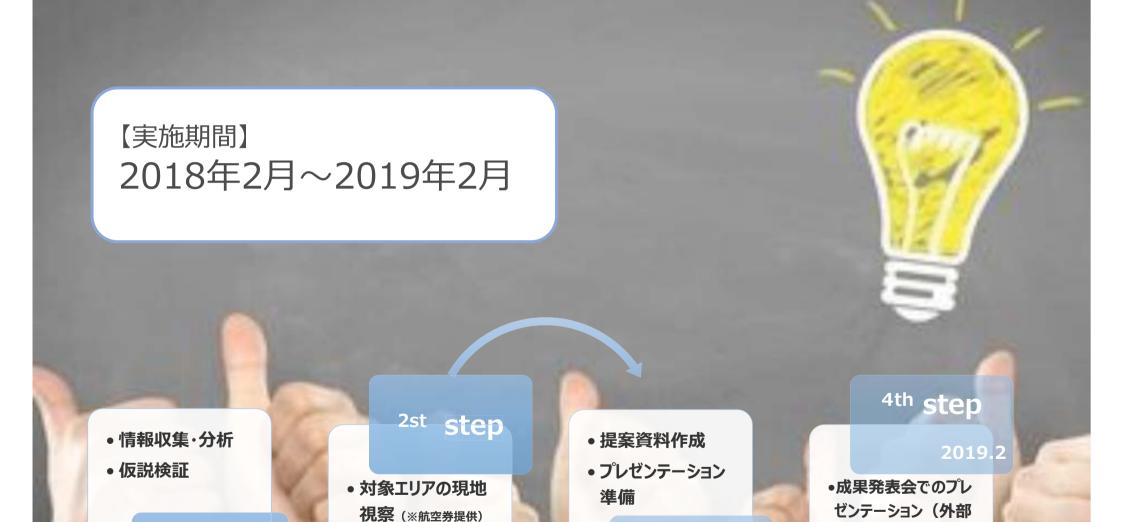
1st step

2018.2

• 現地ヒアリング

審査員による審査・

表彰式)



3rd step